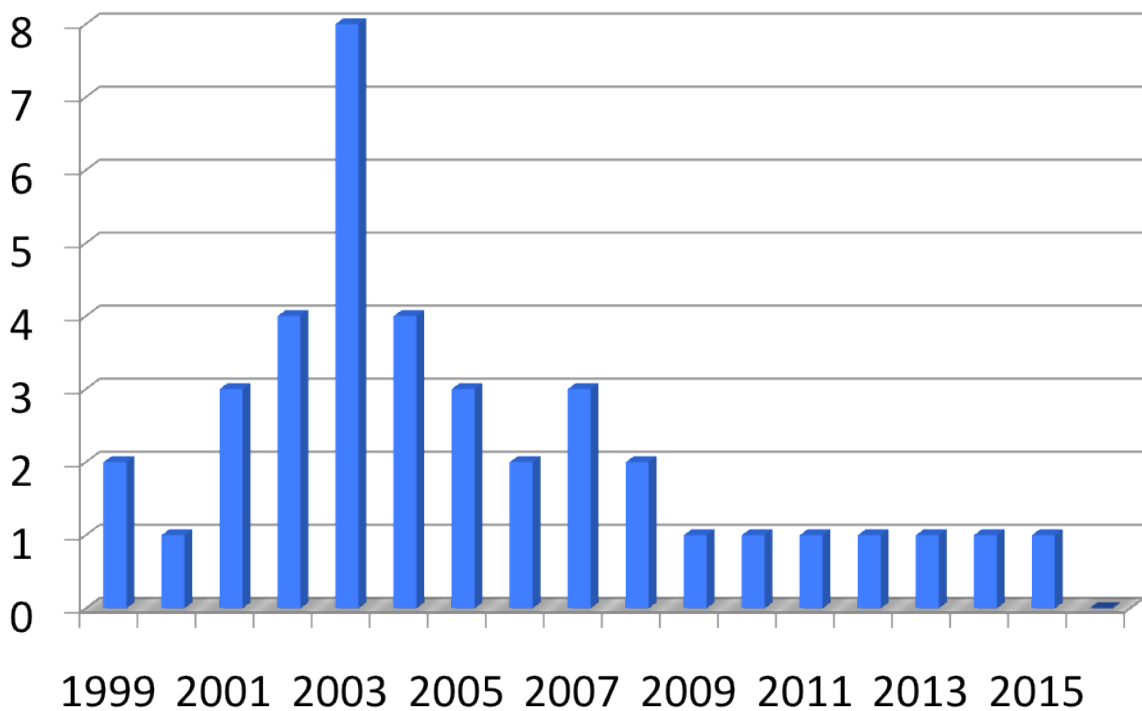


減ってはいても亜急性硬化性全脳炎は注意が必要。

研究分担者： 熊本大学医学部附属病院小児科 野村恵子

亜急性硬化性全脳炎に対する リバビリン治療開始累計数



解 説

1. 近年、亜急性硬化性全脳炎の発生は減少しているが、初発症状が発達障害と類似しているため、早期診断には注意が必要。
2. 更に、亜急性硬化性全脳炎の診療に際しては、患者家族やきょうだいの支援も重要である。